

市民病院整備事業に関するご報告

私は、市民病院整備事業にかかる現計画の対案として現地建替え案を示しましたが、評価委員会から「一般的には、現地建替えは技術的に不可能ではない。ただし、狭隘な現病院において医療を継続しながらの現地建替えは、実現困難となる課題や懸念事項が多い。」との報告を受けました。

また、現地建替えを行うには、工事期間中の動線確保、療養環境や就労環境の悪化等課題が多く、特に現在のコロナ禍による医療の情勢等も含め総合的に判断をすると、現地建替えによる整備を断念せざるを得ません。今後、本市の地域医療の空洞化を生じさせることなく、一日も早い病院整備を進めるためには、早急に立地場所を選定し、来年度中に基本構想及び基本計画を策定した上で、設計及び工事に取り掛かるよう進めていきます。

設計及び工事については、工期短縮をするためデザイン・ビルド方式などの発注方法を検討し、令和7年度を目標年次として病院整備を進めるものです。

これまで、市立野洲病院の現地建替え案に期待していただいた市民の皆さまには大変申し訳なく深くお詫び申し上げます。今後は、一日も早い新築移転での病院整備を進めるよう努めますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

令和3年3月31日

野洲市長 栢木 進